

全校朝会の話 2月6日（月）

今日は、節分のお話をします。節分とは、冬と春の季節の分かれ目なのです。ですから、2月4日から春になるのですが、まだまだ寒い日が続きますね。

節分というと豆まきを思い浮かべる人が多いと思いますが、どうして節分に豆まきをするのでしょうか。これは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立ててそれを追い払うのです。また、鬼に豆を与えて、静かにしてもらう意味もあるそうです。昔の絵には、まいた豆に喜んでいる鬼の様子が書いてあるものもあります。

クイズを出します。鬼が嫌いな魚は何でしょうか。

①あじ ②いわし ③たい

答えは②のいわしです。給食にも出ましたね。鬼は、いわしの焼いたときのおいが苦手なのだそうです。そこで、鬼を追い払うために、柵にいわしの頭を付けたものを家の周りに置くことがあります。

節分の日に食べるとよいものとして、どんな食べ物があるか知っていますか。その一つに恵方巻があります。その年のよい方角を向いて丸かじりすると願いが叶うといわれています。今年は、ほぼ南の方向です。

また、節分の日に「節分そば」といって節分にそばを食べる習慣が残っている地域もあるそうです。

いわしや恵方巻、おそばなどを食べたおうちもあるかもしれませんね。

まだまだ寒い日が続きますが、元気に過ごしてください。